

小島 広之

1993年、愛知県生まれ。慶應義塾大学理工学部を経て同大学文学部美学美術史学専攻を卒業。現在、東京大学大学院総合文化研究科博士後期課程に在籍。現代音楽の端緒と位置付けうる1920年代の作曲論について研究している。ウェブメディア『メルキュール・デザール』に演奏会評「東京フィルハーモニー交響楽団 武満徹 弧 [アーク]」「太田真紀&山田岳×Cabinet of Curiosities : a quiet space」を掲載。さらにウェブメディア「スタイル&アイデア：作曲考」を運営し、今日の現代音楽における「作曲行為」に触れる機会を創出している。

